

## JIHa ユースクラブ 2017 : 9期生の参加者募集

2007年に発足したJIHa ユースクラブは、昨年度に東京にて8期目が開催され、これまでに103名の参加者がコースを修了しました。

若手・中堅会員の計画・設計スキルアップや組織の枠を越えたネットワーク作り、医療福祉建築の研究者や先輩設計者との交流、講義からの修得や他社の取り組み方にも接することができたと、これまでの参加者には好評でした。

さて、今年度は開催地を大阪とし、下記のプログラムにて9期生を募集します。若手・中堅実務者を対象とし、参加型の少人数登録制として、毎月1回土曜日に行う方針はこれまでと同様です。

なお、計画・設計系だけでなく、運営・看護系の方の参加も歓迎致します。ふるってご参加ください。

世話人一同

記

### JIHa ユースクラブ 2017 : 9期生 (大阪開催)

**参加資格** JIHa 会員、会友 ※A会員・会友の法人に所属される方も参加資格がございます。  
※自薦・他薦は問いません。

**定員** 16名程度 (定員になり次第締め切ります)

**参加方法** 登録制 (代理・交代出席は不可)

**参加費** 64,800円 (税込、5回通し、交流費は含みません)

**世話人** 小原博之 (清水建設)、千種幹雄 (昭和設計)、本田孝子 (日建設計)、  
道浦嘉奈子 (鹿島建設)、湯浅篤哉 (大林組)、小菅瑠香 (帝塚山大学)

～世話人は原則として毎回出席予定

※事務局支援 嶋田花織 (Shimada Kaori Design)

**テーマ** 『これからのがん拠点のあり方を考える ～治療・ケア・生活環境の視点で～』

**企画内容** 下記の5回。毎回、終了後に交流会 (会費制) を行います。(企画は若干変更されることがあります。)

#### ① 自己紹介&設計課題説明・グループ討議

10月21日(土) 13:00-17:30 [会場: 清水建設]

初回は自己紹介を行います。竹宮健司氏 (首都大学東京) よりがん医療におけるサポーターブケアとその環境について講義を受けた後に、課題の趣旨についての説明を受けて頂きます。

[コーディネーター: 小菅瑠香氏 (帝塚山大学)]

#### ② 現場から深く学ぶ 11月11日(土) 13:00-17:00 [会場: がん治療関係施設 (調整中)]

病院の見学を兼ねて、現場でスタッフやコーディネーターのお話を伺いながら、がん診療連携拠点病院につき、事例を通して深く学んで頂きます。

[コーディネーター: 河口豊氏 (滋慶医療科学大学院大学)]

#### ③ 課題設計を行う・前編 ～エスキス・中間講評編～

12月9日(土) 13:00-17:30 [会場: 鹿島建設]

講師に田村恵子氏 (京都大学) をお迎えしテーマに関する講義を受けた後に、課題設計に取り組みます。エスキス作業中は世話人が参加してアドバイスします。最後に基本構想を発表していただき、全員で意見交換を致します。

[コーディネーター: 河合慎介氏 (京都府立大学)]

#### ④ プロポーザルの審査をする

1月27日(土) 13:00-17:00 [会場: 日建設計]

グループに分かれ、既往の公募型プロポーザルの応募作品を対象に模擬審査を行います。作品を評価する側に立ち、選評まで書いてみることで新しい視野が開けることを期待します。

[コーディネーター: 箕淳夫氏 (工学院大学)]

- ⑤ 課題設計を行う・後編 ～計画・講評編～ 2月24日(土) 10:00-17:00 [会場：大林組]  
前編でつくった基本構想に従って、午前中に基本計画をして頂きます。午後に各々計画を発表、コーディネーターや世話人を交え、全員で批評しあいます。

[コーディネーター：今井正次氏（三重大学名誉教授）]

建築CPD（継続能力/職能開発）情報提供制度認定プログラム

追記 最終回に修了証を発行します。

#### ※申し込み方法

- 1) 申し込み方法：E-mailに限ります。
- 2) 申込みの確認：お申込み頂いたものについては順次返信を致します。3営業日以内に返信が届かない場合は事務局までご連絡ください。
- 3) 記入事項：件名「JIHa ユースクラブ 2017 参加申込み」 ①参加者名（ふりがな）、②生年月日・年齢、③勤務先・部署、④電話番号、⑤E-mail アドレス、⑥〒・住所（返信先）を記載のこと。
- 4) 申込人数：機会均等のため、応募者多数の場合は法人会員の参加者数を調整させて頂きます。

日本医療福祉建築協会事務局 E-mail : office@jiha.sakura.ne.jp